

## 3637 欧州 18カ国の旅：城門への道中も楽しく

今は、空撮やドローンでの撮影、露出が多く楽しくなくなって来ている。目的地から目的地まで。光景はバスの車窓から。久楽は、今や時代遅れだろうが、プロセスや自然に対して、こだわりがある。それでいいと思っている。

1877年に対岸との間に地続きの道路が作られ、潮の干満に関係なく島に渡れるようになった。しかし、これによって潮流をせき止めることになって、100年間で**2mもの砂が堆積**。急速な陸地化が島の周囲で進行。



島の間際まで、潮が来ることは、なくなってきた由。2009年、地続きの道路が、取り潰され、2014年に新たな橋が完成されたとある。生き物の生態系にも影響しただろう。自然との共生。元に戻せるのだろうか。人間、何を得ようとして、何を失っているのか。

天候の回復はなさそうな気配。視界も期待できそうにない。  
今回、シェルブールには行けないかもしれないと、ふと脳裏に思い浮かんだ。  
そんな先のことより、今が大切。建築物の内部へ。

